

修徳橋

令和4年11月4日 No.18



市川三郷町立六郷小学校 学校だより
市川三郷町岩間 2917
電話：0556-32-2004
<http://www.rokugo-sho.ed.jp/>
発行・文責 校長 上田寛二

1・2年 遠足

10月31日(月)、富士川クラフトパークに、1・2年生で秋の遠足に出かけました。まず体験教室で、1年生ははがきづくり、2年生は切り絵に挑戦しました。その後切り絵美術館を見学し、昼食でお弁当をいただきました。



午後は、遊具で思い切り遊んだり、スケッチをしたり、迷路をしたりしました。集団のきまりやマナーを守りながら、普段できないこともたくさん体験し、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができ、よかったです。



6年 狂言・博物館

11月1日(火)、6年生は校外学習に出かけました。学校を出発し、まず大塚地区の伊勢塚古墳等を見学し、町内の大昔に思いをはせました。次に考古博物館の展示や古墳を見学しました。社会科で歴史を学習しましたが、実際に見ることで更に興味や理解が深まったようです。



昼食後は YCC 文化ホールで、国語の教科書にも載



っている狂言「柿山伏」を鑑賞し、狂言師によるワークショップに参加しました。この日は10以上の小学校が参加していましたが、六郷小学校は最前列でラッキーでした。本物を目の当たりにして、大変感動できたと思います。



大村智博士と会う

6年生は次の日2日(水)にも、校外学習に出かけました。葦崎大村美術館と螢雪寮(大村博士生家)で、ノーベル賞を受賞された大村智博士の業績に触れ、科学や美術への関心を高めました。



美術館は休館日でしたが、この時間だけ六郷小のために特別に開館してくださり、副館長さんと事務局長さんの2名で丁寧に説明してくださいました。



螢雪寮の説明が終わったところで、大村博士が来て下さいました。美術に触れる美しい心という



お話では、ドキッとした児童もいたと思います。望みを捨てないで努力を続けるというお話にも勇気づけられたと思います。ノーベル賞や大村博士の業績を少しだけ知っている分、子供達より私の方がきっとドキドキし、感動していました。色紙にも一言書いていただきましたので、早速児童玄関に飾りました。

